

(4) 質問者議員 丹羽 実

件名1 より良い保育所・認定こども園について。

要旨1 こども家庭庁が言っている「こども誰でも通園制度」について。

- (1) 「こども誰でも通園制度」創設の経過や目的は何ですか。
- (2) 当市では、一時預かり事業を「あいく」を始め7か所の保育所・14か所の認定こども園で実施しているが「こども誰でも通園制度」とどこがちがうのか。
- (3) 児童福祉法に規定された2026年度実施の「乳児等通園支援事業」とどう関連するのか。
- (4) 当市で、この「こども誰でも通園制度」の試行的事業を実施している保育所や認定こども園はあるのか。
- (5) この制度について多方面から論評がされています。実施されれば利用者と事業者の直接契約になるので市町村は関与できないこと、出来高払い方式で事業者は健全な運営ができるのか、預ける子どもにとって、通常の保育より負担が大きくなるのでは等、現時点でどのように考えていますか。
- (6) この制度について、現場の保育所や認定こども園では制度の課題や不安について声を聞いているでしょうか。聞いていればその内容は。

要旨2 当市現場の保育所や認定こども園では、「おむつ」のサブスクリプション実施で喜ばれていると思うが、金額を上げてでも「お昼寝用ふとん」も追加してはどうか。

件名2 住みよいまちづくりについて。

要旨1 さきの3月議会で防犯灯の自治会維持管理の電気代を全額市負担にすべきと質問したが、その後の支援方策研究の結果を聞く。

- (1) 市内全域の防犯灯は何か所あるのか。
- (2) 1灯当たりの年間電気代は。また全額市負担にすると予算は。

要旨2 防犯灯問題以外に自治会の加入率の推移と加入率を上げる方策をお聞き

します。

件名3 2050年までにCO₂排出ゼロを達成するために。

要旨1 河内長野市広報5月号に、今年度の再生可能エネルギー導入促進補助金制度の概要が掲載されました。

- (1) 個人住宅向けの補助の予算額5,460万円に対して5月30日現在の執行率は約6%ですが、7カ月間の受付での執行率として100%になるのでしょうか。前年度までの違いや「お得感」を聞く。
- (2) 民間事業者等向けの補助（自己所有型）と民間事業者等向けの補助（PPA）の申請の状況はどうか。
- (3) 前年度までと違い、補助金についての申請・問い合わせ窓口が環境政策課になっていますが状況はどうか。手ごたえはあるか。

答弁を要求する理事者

市長並びに関係理事者